

東京海上ビルディング「存続のアイデア」募集

皇居のお堀に石垣がなくてはならないように、日比谷通りと行幸通りの角には、この優雅にして格調のある建築がなくてはならない。「一丁倫敦」と呼ばれた重厚なレンガ街のなくなり明るく朗らかな丸ビルも、みな消えてしまったが、この建物はもっと昔からここにあったかのように、しっかりと根を下ろして立っている。（中略）この建物には人格があり、尊厳がある。この中で働く人は幸せだろう。こういう建築には長く残ってもらいたい。

建築家の香山壽夫は、「東京海上ビルディング」の残す価値（※1）をこう唱えた。しかし、願い叶わず今年10月に取り壊されようとしている。そこで、この建築を残し改修したらどんな形になるか、アイデアを考えてください。東京海上ビルディングの人格や尊厳を考え、何を残し次世代に何を繋げていくか、「建築のいのち」をテーマに提案してください。

※1 TMIBを愛する会「え、ホントに壊す？東京海上ビルディング」の巻頭文



課題：東京海上ビルをどのように次世代に繋げていくべきか、改修のあり方をスケッチや文章で描いてください。「建築のいのち」をテーマに、あなたのアイデアを教えてください。

①タイトルと200字の要約文

②スケッチ、または文章2000字以内

A4判一枚（縦）に、どちらかの表現で（両方も可）アイデアを描いて下さい。

■提出期限：2022年8月28日【日】まで、

■応募方法：メールにて応募ください。宛先 jimu@tmiblove.com まで

■郵送先：展示用に原図をお送りいただける方は、下記へ8月28日必着。

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町4番5号 前川建築事務所

※宛先に「東京海上ビルディング存続のアイデア募集係」とお書きください。

参加者には参加賞として前川國男のスケッチ（複製）の額装を後日お送りします。

提出いただいたアイデアは全て、8月30、31日11:30~15:00に東京四谷の前川事務所で展示します。31日13時から参加者のアイデアを口頭でお話しいただく機会も設ける予定です。また、東京海上ビルディングの存続に関する資料は「[東京海上ビルディングを愛し、その存続を願う会](http://tmiblove.com)」(<http://tmiblove.com>)をご覧ください。